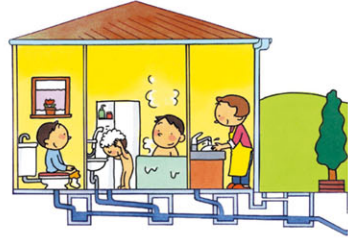


# I. 下水道の種類と機能

## ① 下水道の役割



**快適な生活を支える**  
家庭や工場からの汚水は、汚水ますから下水道管を通して下水処理場へ流れます。清潔で快適な生活を支えています。



**美しい環境をつくる**  
下水処理場では下水を処理し、きれいな水にして放流することで、川や海を美しくしています。



**浸水から街を守る**  
道路や住宅地に降った雨は雨水ますから下水道管を通してそのまま川へ流れたり、ポンプ場でくみ上げられて川へ放流され、街を浸水から守ります。

## ② 下水道の種類

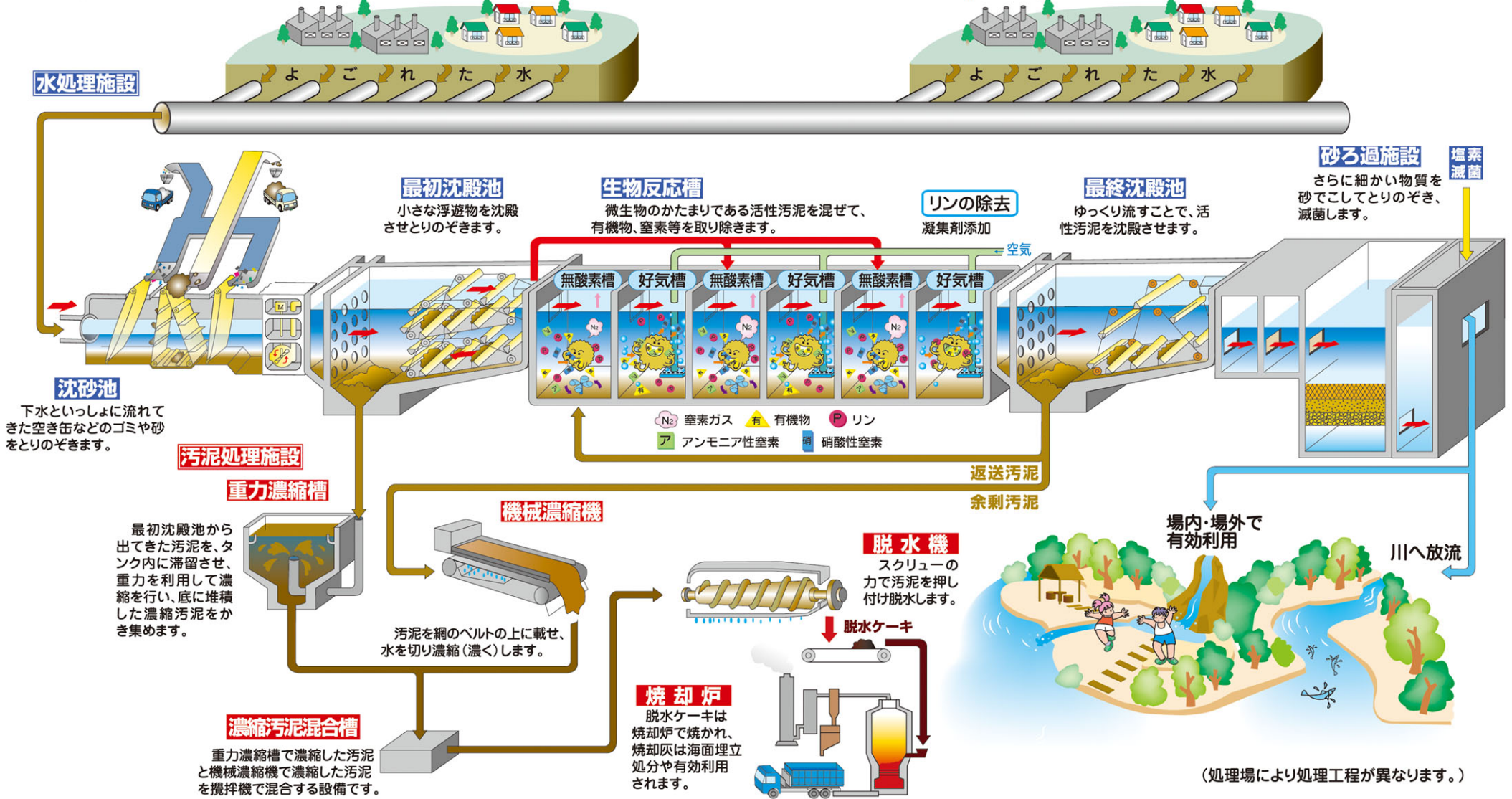
- 流域下水道** → 複数の市町村からの下水を受け入れるための幹線及びポンプ場とこれを処理するための処理場からなり、都道府県が事業を行う。
- 公共下水道** → 市町村が区域内の下水を集めるための管渠と、これを処理する処理場とを合わせて建設するもの(単独公共下水道)。流域下水道に流入する公共下水道で市町村が管渠を建設するもの(流域関連公共下水道)。
- 特定環境保全公共下水道** → 都市計画区域内の市街化区域以外及び都市計画区域外(農村、漁村、観光地等)で事業実施するもの。
- 都市下水路** → 浸水防除のため市町村が雨水を排除するために設置するもの。

## ③ 流域下水道及び単独公共下水道のしくみ



大阪府は流域下水道管渠と水みらいセンターの建設・維持管理を行っています。A町、B市、C市、D市は各家庭から流域下水道管渠へ流入する下水管渠(流域関連公共下水道)の建設・維持管理を行っています。E市は単独公共下水道管渠と処理場の建設・維持管理を行っています。

## ④ 下水道のしくみ



(処理場により処理工程が異なります。)

# II. 数字で見る大阪府の流域下水道

<b>水みらいセンター</b> <b>14箇所</b> <p>1年間で、約7億㎡(25mプール約13万杯分)の汚水を処理しています。</p>	<b>ポンプ場</b> <b>32箇所</b> <p>府内には、ポンプ場21箇所、中継ポンプ場9箇所、処理場内ポンプ場2箇所があります。</p>	<b>管きょ延長</b> <b>約560km</b> <p>汚水・合流・雨水・放流幹線512km、増補幹線41km、直送幹線9kmを保有しています。</p>	<b>流域下水道人口カバー率</b> <b>89.4%</b> <p>政令市を除く、約90%の府民が流域下水道計画区域に住んでいます。</p>
<b>雨水排水能力</b> <b>約930m³/s</b> <p>1秒間で25mプール約3杯を満水にすることができます。大阪府下には21箇所の雨水ポンプ場があります。</p>	<b>投資額</b> <b>約2兆2千億円</b> <p>50年間で累計2兆2千億円を流域下水道施設の建設に投資しています。</p>	<b>処理人口</b> <b>約470万人</b> <p>府下の単独公共下水道と併せると約850万人の府民が下水道を使用しています。</p>	<p><b>全国の流域下水道の中で最大規模の施設・能力等を有しています。</b></p>